

分かりやすく書く工夫  
読み手に伝えたいことが具体的に分かるように読書感想文を書く工夫には、次のようなものがあります。  
(例は文例より引用)

- ・ 比喩を使う。  
例 「まるで漫画のようだ」
- ・ 本文を引用する。  
例 「親ゆずり」「損ばかりしている」「この次は抜かさずに飛んでみせます。」
- ・ 理由を述べる。  
例 「損ばかり」はっているからだ。」
- ・ 自分の経験と比較する。  
例 「坊っちゃんとは正反対だ。」
- ・ キーワードを作る。  
例 坊っちゃんの人物像を表すもの「無鉄砲」「無茶」「危険をおかす」

身に付けると...  
自分の感想や考えを、より具体的に書くことができます。

やってみよう 「文例と解説」

左の文章は、「7 目的や意図に応じて書く(読書感想文)」「知識・技能」のプリントで紹介した夏目漱石の「坊っちゃん」を読んで書いた読書感想文です。

「文例」

坊っちゃんの無鉄砲ぶりは、まるで漫画のようだ。できないだろうとからかわれたら、できると言い張って無茶をする。そんな自分の性格を、「親ゆずり」だと言い、「損ばかりしている」と振り返っている坊っちゃん。しかし、その言葉に後悔の色はなく、むしろ、誇らしささえ感じられる。

「瞬間の衝動」に突き動かされて危険をおかす坊っちゃんは、無敵のヒーローだ。失敗を決して恥じない。「この次は抜かさず」に飛んでみせます」とさえ言うってみせる。僕は坊っちゃんがうらやましいと思っただ。損ばかりしているのに、それが自分だと胸をはっているからだ。僕は、失敗をするとはびごく気落ちするし、そんな自分の性格が嫌で嫌でたまらない。坊っちゃんとは正反対だ。

僕も、自分の思いや行動に自信をもちたい。失敗さえも自分のかけがえのない真実として堂々と誇って生きていきたい。

「解説」

筆者は次のような段落構成で感想文を書いています。このような構成で書くと、自分が思ったことを、なぜそう思ったかが分かるように書くことができます。

- ・ 第一段落 … 坊っちゃんの無鉄砲ぶりと自信にあふれた語り口を話題として提示しています。
- ・ 第二段落 … 作品の表現に具体例を求め、感想を深めています。
- ・ 第三段落 … 坊っちゃんをうらやましく思う気持ちとその理由を述べています。
- ・ 第四段落 … まとめの意見を述べています。

